

# 個人情報提供は慎重に！

2009年5月21日号

「知らない会社から広告メールやダイレクトメールがたくさん来るようになった。自分の個人情報がどこから漏れたのか不審である」といった相談が度々あります。

個人情報は漏れたこと自体で被害が発生するというよりも、その情報が誰かに利用された結果、何らかの被害が発生することのほうが多いと考えられます。情報がどこから漏れたか突き止めることは現実的に不可能です。

企業による個人情報流出だけでなく、消費者もアンケートに答えたり、懸賞サイトに応募したり、知らず知らずのうちに個人情報を自ら提供してしまうことがあります。

個人情報を聞かれる機会は意外と多いものです。聞かれたときは、本当に情報を提供する必要があるのかよく考え、安易に提供しないことです。提供する場合も、必ず利用目的を確認するようにしましょう。

大切な自分の情報は自分で守るという意識をもつことが大切です。